

令和5年度 公益財団法人日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者等表彰受賞者

永年にわたり、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者として、スポーツの指導育成及び組織化、競技力の向上、公認スポーツ指導者制度の発展その他国民スポーツの振興に貢献した者のうち、特に顕著な功績が認められた公益財団法人秋田県スポーツ協会から推薦を受けた5名が受賞しました。

阿部 芳久（秋田市 スポーツドクター）

永年にわたり、秋田県スポーツ協会理事や同医・科学委員会委員長として、秋田県のスポーツ医・科学の発展に貢献してきた。特に国民体育大会秋田県チームの帯同ドクターとして、選手の健康管理予理、傷害の予防や治療など、秋田県のアスリートをサポートしてきた功績は誠に顕著である。

板橋 征男（男鹿市 ラグビーフットボールコーチ2）

1971年に男鹿市ラグビー協会を再建し、翌年には男鹿市立船川第一小学校にラグビースポーツ少年団を結成、その後約15年にわたり、男鹿市立船川中学校ラグビー部を指導し、高校ラグビーの聖地花園の舞台で活躍する選手を多く輩出した。本県のお家芸であるラグビーの礎を築いた指導者である。

遠藤 正幸（秋田市 バレーボールコーチ2）

永年にわたり、バレーボールの指導者として特に小学生の指導に携わっており、秋田県バレーボールの普及や強化に尽力している。また、秋田県バレーボール協会や秋田市バレーボール協会において、永く役員を務めており、バレーボール競技の普及、組織の発展や充実に寄与している。

高橋 和夫（大仙市 陸上競技コーチ3）

高校教員として、陸上競技の普及・競技力向上に努め、全国高等学校総合体育大会や国民体育大会において活躍する選手を数多く輩出するなど、主に高校生の指導育成に尽力している。また、秋田陸上競技協会競技部長、強化委員長、審判委員長を歴任し、秋田県陸上競技の発展に多大な貢献をしている。

佐藤 俊大（秋田市 レスリングコーチ1）

1994年から約30年にわたり、高校部活動においてレスリングの指導をしており、各種全国大会で活躍する選手を数多く輩出するなど、秋田県レスリングの普及・強化に尽力している。また、秋田県レスリング協会理事、常任理事を歴任し、協会の組織発展や充実に大きく寄与している。